



2021年6月25日

そうべつアグリフーズ株式会社
有限会社ミナミアグリシステム
カゴメ株式会社

ニュースリリース

北海道農業生産法人ミナミアグリシステムとカゴメによる たまねぎ(生鮮・加工品販売)の合弁事業

貯蔵庫・選果場が完成 2021年9月から販売開始

～廃校中学校の校舎・敷地を活用し、地元の雇用創出と活性化にも貢献～

北海道農業生産法人 有限会社ミナミアグリシステム(代表取締役:南和孝 以下:ミナミアグリシステム)とカゴメ株式会社(代表取締役社長:山口聡、以下:カゴメ)の合弁会社である「そうべつアグリフーズ株式会社(代表取締役:南和孝 以下:そうべつアグリフーズ)」は、2020年2月の設立以来、準備を進めてまいりました、生鮮たまねぎの貯蔵庫と選果場が完成いたしましたことをご知らせいたします。

そうべつアグリフーズは、北海道産のたまねぎを全国に流通させることで、北海道の農業振興に繋がたいミナミアグリシステムと、「食を通じて社会課題の解決に取り組み、持続的に成長できる強い企業」を目指すカゴメが、お互いの理念に共感して実現した合弁会社です。このたび完成した貯蔵庫・選果場を最大限活用し、主にミナミアグリシステムや地元農家が栽培した北海道産のたまねぎを、2021年9月から北海道内外の卸・仲卸や量販店にむけて販売を開始いたします。また2022年には加工場を建設して、剥きたまねぎなどを2022年から、冷凍ソフリットなどのたまねぎ加工品は2023年から、全国の中食・外食等に携わる顧客にお届けする計画です。

なお、そうべつアグリフーズの貯蔵庫・選果場や加工場は、廃校となった壮瞥町立久保内中学校の校舎・敷地を活用することで、地元雇用を創出するとともに、地域活性化にも貢献してまいります。

これら、本事業における農業所得の向上や地域活性化への取組意義が評価され、農林中央金庫を中心として、日本政策金融公庫、北海道銀行、伊達信用金庫およびJA三井リースによる安定的なサポートをいただくことになりました。



貯蔵庫



貯蔵庫(内部)



選果場(体育館利用)



粗選機

Mooij Agro 社(オランダ)の乾燥・冷蔵機能を備えた貯蔵施設と、DEWULF 社(ベルギー)の粗選機や収穫機といった最新鋭の大型農業機械を導入し、農業の生産性向上を目指します。

■施設の概要

	貯蔵庫(グラウンドに新設)	選果場 (校舎・体育館を活用)
竣工日	2021年6月	2021年6月
建築構造	S造 (平屋)	SRC造 (平屋)
延床面積	延べ 1430m ²	延べ 822m ²

【合併会社概要】

企業名	そうべつアグリフーズ株式会社
住所	北海道有珠郡壮瞥町字南久保内 142 番地 1 (旧壮瞥町立久保内中学校 跡地)
代表取締役	南 和孝
設立年月日	2020年2月
決算期	12月期
事業概要	生たまねぎの販売及びたまねぎ加工品の製造と販売

▽会社所在地



※ カゴメ株式会社は、そうべつアグリフーズ株式会社を持分法適用関連会社としております。

【ミナミアグリシステムにとっての本事業の意義】

「地域活性化への貢献」と「市場ニーズへの対応」を目指した事業化

ミナミアグリシステムは、1941年から壮瞥町で農業を営んでおり、02年に法人化し「環境保全型持続農業経営」を目指しつつ農場の規模を拡大してきました。現在では畑作のほか、野菜や花卉の施設園芸、和牛の繁殖などにも取り組んでいます。

今回の事業は、従来から目指してきた農業振興に加えて、たまねぎ生産者が壮瞥町エリアで増えることや加工場が地域住民の働く場になることで、地域の活性化に貢献できると考えております。また、野菜をそのまま販売するだけでなく、加工して販売することで中食・外食市場からのニーズにも応えることができると考えております。

■ 有限会社ミナミアグリシステムの概要

本社	北海道有珠郡壮瞥町字幸内 124 番地 3
代表者	代表取締役 南 和孝
創業/設立	1941年 / 2014年2月
事業概要	ブロッコリー、たまねぎ、とうもろこしなどの栽培と販売

【カゴメにとっての本事業の意義】

1. 長期ビジョン「トマトの会社から、野菜の会社に。」の実現

カゴメは「トマトの会社」から「野菜の会社」に進化するために事業の多角化を進めており、新たな事業や領域での成長については、オープンイノベーションを推進し、自社の研究開発のみに頼らず、他社と積極的に連携していく方針です。

たまねぎは、カゴメの主力商品であるトマトやトマト加工品と相性が良く、昨今、中食や外食産業の現場においては、調理作業の手間や時間を削減できる「オニオンソテー」などのたまねぎ加工品の需要が高まっています。カゴメは、この需要の高まりを成長に取り込むために、確かな農業技術を有するミナミアグリシステムを事業パートナーとし、主に「北海道産」という高いブランド力のたまねぎを、ユーザーのニーズに合わせて生鮮品から加工品までシームレスに提供できることを強みとして、事業拡大を図ってまいります。

2. 社会課題「農業振興・地方創生」への貢献

カゴメは、2025年のありたい姿として「食を通じて社会課題の解決に取り組み、持続的に成長できる強い企業」を目指しており、解決すべき社会課題の一つを「農業振興・地方創生」としております。

今回の事業では、たまねぎの貯蔵庫や選果場、加工場には廃校した壮瞥町立久保内中学校の校舎・敷地を活用しており、地元の雇用創出と地域の活性化にも貢献できると考えております。

■ カゴメ株式会社の概要

本社	愛知県名古屋市中区錦3丁目14番15号
代表者	代表取締役社長 山口 聡
創業/設立	1899年 / 1949年8月
事業概要	調味食品、保存食品、飲料、その他の食品の製造・販売 種苗、青果物の仕入れ・生産・販売

(本件の問い合わせ先)

有限会社ミナミアグリシステム 代表取締役 南 TEL:0142-65-2145

カゴメ株式会社 経営企画室 広報グループ 北川・堀江 TEL:03-5623-8503